

福岡教区の「宣教司牧方針」についてのアンケート

あなた様ご自身のことについて、差支えのない範囲でお聞かせください。

年齢	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上
信徒等	<input type="checkbox"/> 信徒 <input type="checkbox"/> 教区司祭 <input type="checkbox"/> 修道会・宣教会司祭 <input type="checkbox"/> 修道者 <input type="checkbox"/> その他

1. 「宣教司牧方針」は教区のこれからの歩みのために

- 非常に助けになる
- 助けになる
- あまり助けにならない
- 全然助けにならない

2. 「宣教司牧方針」を読んで、

- 嬉しく思った
- 励まされた
- あまり興味がなかった
- 特になし

3. 「出向いて行く教会となる」部分の内容に

- 非常に賛同する
- 賛同する
- あまり賛同しない
- 全然賛同しない

4. 「互いに支え合う交わりの教会を築く」部分の内容に

- 非常に賛同する
- 賛同する
- あまり賛同しない
- 全然賛同しない

5. 「新しい時代に開かれた教会となる」部分の内容に

- 非常に賛同する
- 賛同する
- あまり賛同しない
- 全然賛同しない

6. 「出向いて行く教会となる」。この課題とその取り組みはどれだけ大切だと思いますか。点数を通してその大切さを表してください。5は非常に大切、1はあまり大切ではない。違った項目に同じ点数をつけても結構です。

課題と取り組み	点数				
(1) 一人ひとりが、信仰の賜物を感謝のうちに受け止め、深める。					
① すべての土台である祈りを大切にする。	5	4	3	2	1
② 祈りを学ぶ場と機会を作る。	5	4	3	2	1
③ みことば、特に福音書により深く親しむ。	5	4	3	2	1
④ 分かち合いを通して、生活に根ざした信仰を育てる。	5	4	3	2	1

(2) 生活と結び付いた典礼を目指す。					
① ミサを大切にする。	5	4	3	2	1
② 主日のミサへの参加を皆に呼びかける。	5	4	3	2	1
③ 子どもたちがミサに親しむように工夫する。	5	4	3	2	1
④ ミサの共同祈願に現実を踏まえた意向を加える。	5	4	3	2	1
(3) 自分の信仰を自分の言葉で語り、福音的な価値観を身に付ける養成を行う。					
① 聖書を学ぶ。	5	4	3	2	1
② 教区や各地区に「養成・宣教委員会」を設置する。	5	4	3	2	1
(4) すべての人々を温かく迎え、イエスとの出会いから来る喜びと希望を分かち合う。					
① 生活を通して福音を証しし、伝える。	5	4	3	2	1
② 教会の門を開き、訪れる人々を温かく迎える。	5	4	3	2	1
③ 各小教区で、キリスト者でない人々のためのプログラムを提供する。	5	4	3	2	1
④ カトリックの医療施設において出会う人々に、関わりを通して福音がもたらす癒しと希望に触れていただくように心がける。	5	4	3	2	1
⑤ 現代のコミュニケーションの新しい技術を使って福音宣教を行う。	5	4	3	2	1
(5) 社会の現実を福音的なまなざしで見つて弱い立場に置かれている人々と真剣に関わる。					
① 社会の現実と向き合い、イエスのまなざしで見つる。	5	4	3	2	1
② 必要な助けを欠いている人々に寄り添う。	5	4	3	2	1
③ 教会の社会教説を学ぶ。	5	4	3	2	1
④ 社会活動の霊性を深める。	5	4	3	2	1
(6) 神が望んでおられる正義と平和を基礎とする社会を築くように多くの人々と協力し、具体的な活動に取り組む。					
① 一人ひとりが信仰者として社会の課題に関心を持つように促す。	5	4	3	2	1
② 教区や地区に社会福音化委員会を設置する。	5	4	3	2	1
③ 日本の教会の 8 月(平和旬間)と 9 月(いのちを守る月間)の企画に参加する。	5	4	3	2	1
④ 人類の将来にかかわる環境問題に積極的に取り組む。	5	4	3	2	1
⑥ 日本の教会で社会問題に取り組んでいる委員会やグループと協力する。	5	4	3	2	1
⑦ 教会外のグループとの協力を強化する。	5	4	3	2	1

7. 「互いに支え合う交わりの教会を築く」。この課題とその取り組みはどれだけ大事だと思いますか。点数を通してその大切さを表してください。5 は非常に大切、1 はあまり大切ではない。違った項目に同じ点数をつけても結構です。

課題と取り組み	点数				
(1) イエスを中心とした交わりを絶えず深める。					
① ミサに積極的に参加することによって、共同体の一致を強める。	5	4	3	2	1
② 小教区共同体の一致を保つように最善を尽くす。	5	4	3	2	1
(2) コミュニケーションを強化して、教会の一致を保ち、交わりを強める。					
① 教会における対話とコミュニケーションを強化する。	5	4	3	2	1
② 教区と各地区に「宣教司牧評議会」を設置する。	5	4	3	2	1
③ 各委員会の活動を皆に知らせる。	5	4	3	2	1
(3) 委員会と活動団体への参加を促し、それぞれの活動によって教区全体の歩みを支える。					
① 教区の委員会を再編成する。	5	4	3	2	1
② 種々の団体に期待を置き、その活動を認め支える。	5	4	3	2	1
(4) 一人ひとりが与えられた召し出しの賜物を自覚し、互いにそれを認め合い、支え合う。					
① 一人ひとりが与えられた召し出しを忠実に生きるように支え合う。	5	4	3	2	1
② 宣教司牧評議会や教会委員会の働きを大事にする。	5	4	3	2	1

8. 「新しい時代に開かれた教会となる」。この課題とその取り組みはどれだけ大事だと思いますか。点数を通してその大切さを表してください。5 は非常に大切、1 はあまり大切ではない。違った項目に同じ点数をつけても結構です。

課題と取り組み	点数				
(1) 青年たちが自発的に取り組んでいる活動を支援し、更に、教区や地区として新しい企画を試みる。					
① 青年たちが集える場を作る。	5	4	3	2	1
② 現代社会の中で信仰を生き、証しする青年の育成を目指す。	5	4	3	2	1
(2) 青少年の信仰教育のプログラムを充実させ、リーダーの育成に力を入れる。					
① 教会学校の充実を目指す。	5	4	3	2	1
② 中学生・高校生の活動を支える。	5	4	3	2	1
③ 青少年のリーダーの育成を続ける。	5	4	3	2	1
(3) 司祭職や修道生活への召し出しを促進する。					
① 司祭職や修道生活への召し出しのために祈る。	5	4	3	2	1
② 青少年司牧と召命推進活動のつながりを強めるように努力する。	5	4	3	2	1

(4) 福岡教区にある教育事業等の活動を支える。					
① 教会にとって多くの子供たちと青年たちとの出会いの場である教育事業(大学、高・中・小学校、幼稚園、保育園、福祉施設等)の働きを支える。	5	4	3	2	1
② カトリックの教育事業で働く人々の育成に力を入れる。	5	4	3	2	1
③ 教区、小教区と教育事業の協力体制を強める	5	4	3	2	1
(5) 外国から来た信徒が福岡教区にもたらす多くの賜物を喜んで受け入れ、この兄弟姉妹たちと積極的に関わる。					
① 外国から来た信徒との関わりを強める。	5	4	3	2	1
② 外国から来た信徒の教会委員会への参加を促進する。	5	4	3	2	1
③ 外国語での司牧的なケアを大事にする。	5	4	3	2	1
④ 難民移住移動者との関わりを強化する。	5	4	3	2	1

7. 「宣教司牧方針」で記されている提案の他に、別の提案がありますでしょうか。あれば、書いてください。

提案 1

提案 2

8. 2027 年は 福岡教区設立の 100 周年になります。この大事なひとときを有意義に祝うために、提案がありますでしょうか。是非聞かせてください。

提案 A

提案 B

アンケートの回答は、11月21日(日)までをお願いいたします。
ご協力をありがとうございました。